

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 2 防霜対策特集号

1. 霜害にあいやすい時期です。『防霜対策』を徹底しよう！

◇ **発芽 10 日後頃（雌しべ長 2 mm 前後）** になると霜害にあいやすくなる

＜園芸農業研究所の生育状況＞

- ・ 発芽期 紅秀峰：3/27 （前年 3/23：4 日遅い、平年 3/23：4 日遅い）
佐藤錦：3/30 （前年 3/29：1 日遅い、平年 3/28：2 日遅い）
- ・ 雌しべ長（3/31 現在）：紅秀峰：1.90mm、佐藤錦：1.41mm

※ 凍害による雌しべの枯死が発生している園地もみられます（確認方法は vol.1 参照）

◎短果枝の外観と雌しべ長および霜害発生の目安

		
発芽期頃 芽の先端に緑が出始めた頃 （雌しべ長：1.3 mm 前後）	発芽 10 日後頃 花芽が膨らみ、はっきりと 緑が確認できる頃 （雌しべ長：2 mm 前後）	発芽 15 日後頃 さらに膨らみ、花芽の半分くらい 緑(赤)になった頃 （雌しべ長：3 mm 前後）
まだ被害が出にくい時期	この頃から 注意が必要	だんだん弱くなる 
		
花芽が割れ始めた頃 （雌しべ長：5 mm 前後）	開花前～開花始期 （雌しべ長：6～8 mm）	
← この時期が最も霜害に弱い！！ →		

※「やまがた紅王」「紅秀峰」は「佐藤錦」より外観、雌しべ長とも進みが早いので、特に注意！

2. 霜害にあいやすい条件

- ◇ ・霜害の常襲地、摘芽した園地
- ◇ ・雌しべの枯死がみられる園地

特に対策をしっかり！

《 霜が降りやすい条件 》

- ・晴天で日中の気温が低い
- ・夜間に風がなく晴れている
- ・午後5時の気温が10℃以下、
午後10時頃の気温が5℃以下

天気予報 + 自分で確認

凍霜害対策「低温アラートシステム」が4月から利用できるようになりました！

- ・県内の樹園地等に50台以上の小型気象装置を設置
- ・観測地点ごとに ①現在の気温を確認できる
②自分で設定した気温になるとメールで通知される
- ・利用は、「やまがたアグリネット」から（会員限定：登録料・会費等なし）

3. 適切な方法で確実な防霜対策を！

※1か月予報では、気温は高めの予報。早めの準備が必要。

【事前の準備】

- ◇ 気温の高い午前中にたっぷりかん水（土壌水分の確保）
- ◇ 地表面を覆うもの（敷きワラ等）を取り除く

【主な防霜対策】

（1）散水氷結法



- ・マイクロスプリンクラー等で樹上から散水
- ・散水はスプリンクラーが凍結する前の2℃程度から開始
- ・翌朝、氷が融けるまで散水を続ける
(途中で散水を止めると被害を助長するので注意！)

（2）防霜ファン



- ・気温が2℃以下になったら稼動
- ・-2℃以下になった場合は、効果が不十分であるため、燃焼法を併用

（3）燃焼法



- ・「霜キラー」や「防霜ロック」は10aあたり20～30個設置
- ・気温が1℃を下回ったら点火
- ・気温が最も低い日の出直前に火力が低下しないようにする